



楽しい！新しい！懐かしい！

「松戸のたからもの 松戸市の美術コレクション」を開催します

- 会 期 令和2年7月23日（祝）～令和2年8月30日（日）
※開館時間 9時30分～17時（入館は16時30分まで）
※毎週月曜休館（8月10日は開館し、11日休館）
※プレス内覧：7月22日（水）10時から15時頃まで
- 会 場 松戸市立博物館企画展示室（松戸市千駄堀671番地）
☎047-384-8181
- 開催主旨 本市所蔵の美術コレクションには、大きく二つの柱があります。一つ目は松戸に生まれた、あるいは住んだ作家に関するもの。二つ目はかつて松戸にあった千葉大学工学部とその前身である東京高等工芸学校に関するものです。
この二つを柱に、現在までに約1,600点の作品と2,000点以上の資料を収集・保管し、調査研究した成果を展覧会という形で皆さんにお知らせしてきました。コレクションには、絵画、彫刻、工芸、デザイン、写真など様々なジャンルが含まれています。
本展では、「楽しい！新しい！懐かしい！」をコンセプトに18名の作家による約104点の作品・資料をご紹介します。
- 出品点数 104点（絵画、彫刻、工芸、デザイン、写真など）
- 観覧料 一般 310円、高校・大学生 150円 ※小中学生及び市内在住の70歳以上の方、身体障害者手帳、療育手帳または精神保健福祉手帳の交付を受けている方とその介護者（手帳の交付を受けている方1人につき1人）は無料
- 主 催 松戸市教育委員会
- 後 援 JOBAN アートライン協議会
- 助 成 一般財団法人自治総合センター
- 協 力 新京成電鉄株式会社、北総鉄道株式会社、流鉄株式会社

【問い合わせ先】

松戸市教育委員会社会教育課美術館準備室 ☎047-366-7463



■■会期中のイベント案内■■

■ 講演会

『板倉鼎・須美子書簡集』刊行記念レクチャー

日 時：①8月2日（日）・②8月23日（日）※各14時～15時30分

会 場：市民会館301会議室

定 員：各30名（抽選）

費 用：無料

演 題：①（仮題）「パリの、海と金魚鉢―板倉鼎・須美子と岡鹿之助」
②（仮題）「板倉鼎・須美子書簡集監修秘話」

講 師：①（公財）石橋財団アーディゾン美術館教育普及部長・貝塚 健 氏
②和洋女子大学名誉教授・川崎 キヌ子 氏（書簡集監修者）
松戸市教育委員会社会教育課美術館準備室学芸員・田中 典子

申込方法：①7月22日（水）②8月13日（木）までに、「ちば電子サービス」
または、往復はがきかFAXに希望イベント名・希望の回・氏名・
住所・電話番号を記入して、〒271-8588松戸市教育委員
会社会教育課（FAX047-366-7055）へ

■ ワークショップ

子どもワークショップ「ミニチュア家具づくりにチャレンジ！」

展覧会に出展している家具のミニチュアを作ってみよう！

日 時：令和2年8月8日（土）

（1回目）午前の部：9時から12時

（2回目）午後の部：13時から16時

会 場：21世紀の森と広場 森の工芸館

対 象：市内在住の小学4年生から6年生とその家族

定 員：午前・午後各4家族（抽選） ※1家族4名程度

費 用：無料

講 師：松戸市教育委員会学習支援専門員・泉 晴行 氏

申込方法：7月28日（火）までに、「ちば電子サービス」または往復はがきか
FAXに希望イベント名・希望時間（午前または午後）・参加者全員の氏
名・住所・年齢・電話番号を記入して、〒271-8588松戸市教
育委員会 社会教育課（FAX047-366-7055）へ

1 松戸に生まれた、あるいは住んだ作家

東京近郊に位置する緑豊かな松戸には多くの芸術家が住みました。洋画家**田中寅三**は1914年に千葉大学園芸学部の図画教師となり、松戸の風景を描いています。エコール・ド・パリの画家である**板倉鼎**は松戸に育ち、妻の**須美子**とともに近年再評価の機運が高まっています。そのほか、版画家の**奥山儀八郎**、松戸の自宅に窯を築いた陶芸家の**宮之原謙**など、多様な作家がこの地に住み、制作活動をしていました。



田中寅三
千葉大学園芸学部にて



板倉鼎・須美子
1926年頃

出品作家

【洋画】田中寅三、板倉鼎、板倉須美子、長田国夫、竹内栄三郎、渋谷克己
 【版画】奥山儀八郎 【工芸】宮之原謙 【写真】及川修次

2 かつて松戸にあった千葉大学工学部と その前身である東京高等工芸学校に関するもの

東京高等工芸学校は、1921(大正10)年東京市芝区で開校した戦前を代表する本格的なデザイナー養成学校です。この官立学校は近代技術や産業と芸術の統合を目標にしており、大橋正や剣持勇などといった著名なデザイナーを輩出し、日本のデザイン史上極めて重要な役割を担いました。1945年の東京大空襲で校舎が焼失し、松戸市岩瀬に移転。その後1964年に西千葉地区に移るまでの約20年間、松戸において先進的なデザイン教育を行いました。



千葉大学工学部正門
松戸市立博物館蔵

出品作家

【洋画】松岡壽、和田香苗、土屋幸夫、赤穴宏 【彫刻】寺畑助之丞
 【工芸】豊田勝秋 【インテリア】森谷延雄、剣持勇
 【グラフィックデザイン】大橋正

出品作家と作品

出品予定作品

※一部寄託作品、参考出品（個人蔵）含む

絵画40点、彫刻3点、工芸12点、版画8点、
インテリア10点、グラフィックデザイン15点、写真7点
その他参考出品等9点

1 は、松戸に生まれた、あるいは住んだ作家

2 は、千葉大学工学部（旧高等工芸学校）に関する作家

絵画

まつおか ひさし

松岡壽 1862-1944

岡山県に生まれる。
1871年上京し、下宿先
が同じだった森鷗外と
交友関係を結ぶ。工部
美術学校卒業後1880年
ローマに留学。留学中、
後に東京駅を設計する
辰野金吾と親しくなる。
1921年東京高等工芸学
校の初代校長となる。



《子守》1891年

2

たなか とらぞう

田中寅三 1878-1961

愛媛県に生まれる。天真
道場を経て1896年東京
美術学校西洋画科開設と
同時に入学、黒田清輝ら
に学び在学中より白馬会
展に出品。1914年より
松戸の千葉県立高等園芸
学校（現千葉大学園芸学
部）で図画を指導（42年
まで）。



《サンクガーデン 園芸学校》
制作年不明

1

いたくら かなえ

板倉鼎 1901-1929

埼玉県に生まれ、小学
生の頃松戸に転居。
1924年東京美術学校
（現在の東京藝術大
学）西洋画科卒業。
1926年よりパリに留学、
サロン・デ・ザンデパ
ندان、仏蘭西日本美
術家協会展等に出品し
たが、1929年急病によ
り客死した。



《画家の像》1928年

1

いたくら すみこ

板倉須美子 1908-1934

東京に生まれる。父は
ロシア文学者の昇曙夢。
1925年文化学院卒業、
板倉鼎と結婚。翌年鼎
と共に渡仏し1927年
パリで油絵を始める。
サロン・ドートンヌに
3年連続入選するなど
高く評価されたが、帰
国後病を得て早世した。



《ベル・ホノルル24》1928年頃

1

彫刻

てらはた すけのじょう

寺畑助之丞 1892-1970

2

富山県高岡市生まれ。1918年東京美術学校卒業後、朝鮮総督府技師として総督府庁舎の彫刻を担当。1926年東京高等工芸学校で彫刻を教える。東京高等工芸学校ではデザインの素養に必要なものとして、絵画や彫刻を教えていた。



《聖徳太子立像》1934年
石膏



《潮(母子立像)》
制作年不明、石膏

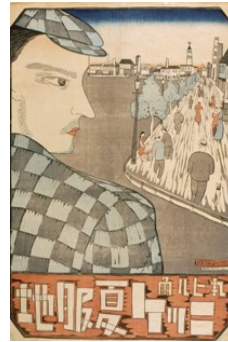
版画

おくやま ぎはちろう

奥山儀八郎 1907-1981

1

山形県に生まれる。1928年より東京・丸の内でのニッケ（日本毛織）で版画のポスターを制作。1936年石井研堂と出会い日本の伝統木版画に開眼、その復興を志す。1954年松戸市下矢切に転居、版画工房を開設し制作の拠点とした。



《ニッケ夏服地》
1937年



《矢切れの渡し》
1955～1958年頃

工芸

みやのはら けん

宮之原謙 1898-1977

1

鹿児島県鹿児島市生まれ。子供のころに上京し、18歳で早稲田大学建築科に入学。在学中から陶芸を始める。1949年に松戸市上本郷に転居し自宅の庭に窯を作る。1957年日本芸術院賞。1961年宮内庁買い上げ。



《釉彩磁泰山木花瓶》1972年

とよだ かつあき

豊田勝秋 1897-1972

2

福岡県久留米市出身。1915年東京美術学校鑄造科入学。1923年高等工芸嘱託となる。1926年に現代的な造形を目指す工芸グループ无型を結成。1954年から佐賀大学で教鞭を執った。



《鑄銅花生寿恵広》1967年

インテリア

2

もりや のぶお

森谷延雄 1893-1927

千葉県佐倉町（現佐倉市）生まれ。1912年、東京高等工業学校（現東京工業大学）に入学。卒業後、清水組（現清水建設）に入社。1920年、清水組を退社し欧米に留学。帰国後、東京高等工芸学校木材工芸科でインテリアを教える。1927年、33歳の若さで死去。



朱の食堂《小卓子》《食卓》《肘掛椅子》
1925年（2008年復原）

けんもちいさむ

剣持勇 1912-1971

1932年東京高等工芸学校木材工芸科卒業。卒業後、国立のデザイン研究機関である工芸指導所に入所。1955年フリーランスとなり剣持勇デザイン研究所設立。1959年東京オリンピックデザイン委員就任。画像左のペンダントライトは1964年建設の国立屋内総合競技場（代々木）内に設置された。



《ペンダントライト》
1962年



《イージーチェア5005》1958年

2

グラフィックデザイン

2

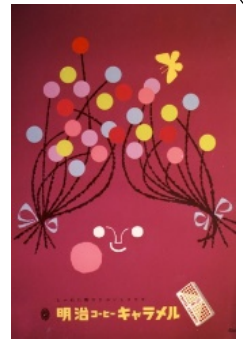
おおはしただし

大橋正 1916-1998

京都市生まれ。1934年東京高等工芸学校工芸図案科入学。学校の2年下には漫画家のやなせたかしがいる。卒業後、大阪大丸、日本電報通信社（現電通）の勤務を経てフリーランスに。キッコーマンや明治製菓の広告デザインを多く手掛けた。



《明治チョコレートキャラメル
デラックス》
1957年頃



《明治コーヒーキャラメル》
1956年頃

写真

1

おいかわ しゅうじ

及川修次 1922-2018

岩手県に生まれる。1969年松戸市に転居。1974年利根川の撮影を開始、四半世紀をかけて源流から銚子河口までの風景と川沿いに暮らす人々の暮らしを撮影した。1981年新宿ニコンサロンで個展「利根川山河」を開催。



上：《矢切の渡し 江戸川（千葉県松戸市）》1975年
下：《マコモ茂る舟繋ぎ場 霞ヶ浦 麻生町（茨城県行方市）》1975年

松戸のたからもの出品予定作品

no.	作者	作品名	制作年	高さ	縦(奥行)	横(幅)	径	材質・技法
1	松岡壽	子守	1891年		45.6cm	27.5cm		油彩
2	松岡壽	海岸風景	1883年		12.3cm	23.3cm		油彩
3	松岡壽	逗子の風景	1939年		45.6cm	53.0cm		油彩
4	松岡壽	バラ	1933年		33.2cm	24.6cm		油彩
5	田中寅三	温室*	1913年		40.7cm	53.1cm		キャンバス、油彩
6	田中寅三	サンクガーデン 園芸学校*	制作年不明		33.2cm	24.1cm		紙、鉛筆、水彩
7	田中寅三	水元村	1939年		23.9cm	32.9cm		油彩
8	田中寅三	風景*	制作年不明		24.0cm	32.8cm		キャンバスボード、油彩
9	田中寅三	航海中の甲板	制作年不明		23.6cm	32.8cm		油彩
10	和田香苗	木々と屋根*	制作年不明		41.0cm	27.5cm		キャンバス、油彩
11	和田香苗	自画像(逆光)*	1915年7月		45.7cm	33.4cm		キャンバス、油彩
12	和田香苗	ヴェトゥイユ風景(6月11日)*	1922年6月11日		14.7cm	22.6cm		キャンバスボード、油彩
13	和田香苗	ヴェトゥイユ風景(6月10日)*	1922年6月10日		15.6cm	22.8cm		キャンバスボード、油彩
14	和田香苗	女と百日草	1924年		90.8cm	72.8cm		キャンバス、油彩
15	板倉鼎	風景 秋更け行く	1920年		53.0cm	73.0cm		キャンバス、油彩
16	板倉鼎	沼	1924年		45.3cm	53.0cm		キャンバス、油彩
17	板倉鼎	野菜	1927年頃		38.0cm	55.0cm		キャンバス、油彩
18	板倉鼎	金魚と鳥貝	1927年頃		46.0cm	55.0cm		キャンバス、油彩
19	板倉鼎	仮面のある静物*	1927年頃		38.0cm	46.0cm		キャンバス、油彩
20	板倉鼎	アネモネ*	1927~1929年頃		45.7cm	38.0cm		キャンバス・油彩
21	板倉鼎	風景(巴里街頭)	1928年		59.5cm	92.0cm		キャンバス、油彩
22	板倉鼎	画家の像	1928年12月		117.0cm	80.0cm		カンヴァス、油彩
23	板倉鼎	休む赤衣の女*	1929年頃		110.3cm	142.0cm		キャンバス、油彩
24	板倉鼎	ダリアと少女	1929年頃		91.7cm	91.8cm		キャンバス、油彩
25	板倉須美子	午後 ベル・ホノルル12	1927~1928年頃		80.0cm	115.2cm		キャンバス、油彩
26	板倉須美子	ベル・ホノルル14	1927~1928年頃		40.8cm	27.0cm		キャンバス、油彩
27	板倉須美子	ベル・ホノルル24	1928年頃		64.0cm	80.5cm		キャンバス、油彩
28	板倉(昇) 須美子	風景*	制作年不明		31.5cm	39.6cm		キャンバス、油彩
29	森谷延雄	朱の食堂食卓子(復原)	1925年(2008年復原)	71.0cm	108.9cm	108.9cm		塗装した檜
30	森谷延雄	朱の食堂茶卓子(復原)	1925年(2008年復原)	71.0cm	49.5cm	49.5cm		塗装した檜
31	森谷延雄	朱の食堂肘掛椅子(復原)	1925年(2008年復原)	91.0cm	67.0cm	61.0cm		塗装した檜、布
32	森谷延雄	書架	1924年	120.5cm	35.6cm	84.5cm		木
33	森谷延雄	ベンチ	1924年	36.0cm	47.8cm	93.5cm		木、金属
34	豊田勝秋	灰皿(2枚組)	1925年	1.6cm			13.6cm	ブラステック、金属
35	豊田勝秋	鑄銅花生	1953年	25.8cm			17.7cm	ブロンズ
36	豊田勝秋	鑄銅花器(独楽手)	1964年	31.3cm			30.0cm	ブロンズ
37	豊田勝秋	鑄銅花生寿恵広	1967年	34.6cm			21.1cm	ブロンズ
38	土屋幸夫	コンポジション	1930年		46.0cm	54.0cm		キャンバス、油彩
39	土屋幸夫	(男)又は自画像	1952年		45.5cm	33.5cm		キャンバス、油彩
40	土屋幸夫	黒のオブジェ・夜間作業 2	1970年代		53.0cm	40.0cm		シルクスクリーン、色紙
41	土屋幸夫	透視する自我	1995年		41.6cm	33.0cm		パステル、水彩、厚紙
42	寺畑助之丞	潮(母子立像)	制作年不明	125.0cm	50.0cm	60.0cm		石膏
43	寺畑助之丞	聖徳太子立像	1934年	171.0cm	60.0cm	69.0cm		石膏
44	寺畑助之丞	樹蔭	1962年	64.0cm		76.3cm		石膏原型
45	奥山儀八郎	建築	1929年		8.2cm	10.0cm		紙、木版(墨摺)
46	奥山儀八郎	ニッケ背広とオーバー	制作年不明		72.5cm	48.5cm		紙、リノリウム版(多色摺)
47	奥山儀八郎	凶作地を救へ	1934年		72.5cm	48.4cm		紙、木版(多色摺り)
48	奥山儀八郎	ニッケ夏服地	1937年		78.0cm	53.0cm		紙、木版(多色機械印刷)
48.5	奥山儀八郎	本邦に於ける本格的ウキスキーの開宗たる竹鶴政孝先生之像	1939年		36.0cm	24.4cm		紙、木版(多色摺)

no.	作者	作品名	制作年	高さ	縦(奥行)	横(幅)	径	材質・技法
50	奥山儀八郎	帝国議事堂	1941年		22.2cm	28.1cm		紙、木版(多色摺)
51	奥山儀八郎	東京中央停車場	1941年		22.5cm	28.4cm		紙、木版(多色摺)
52	奥山儀八郎	矢切れの渡し	1955~1958年		47.2cm	21.6cm		紙、木版(墨摺)
53	奥山儀八郎	タンギー像	1957年		47.1cm	37.3cm		紙、木版(多色摺)
54	奥山儀八郎	珈琲遍歴	1957年頃		50.4cm	35.5cm		紙、木版(多色摺)
55	奥山儀八郎著、装幀 旭屋出版発行	珈琲遍歴	1963年		21.5cm	15.8cm		図書(表紙:紙、木版(墨摺)、印刷)
56	奥山儀八郎	利根川	1969年		36.4cm	49.2cm		紙、木版(墨摺)
57	大橋正	夏の研彩会 夏の銘仙研彩会	1939年		40.0cm	77.1cm		紙、凸版・網版
58	大橋正(ad、アーティスト)	明治チョコレートキャラメルデラックス	1957年頃		109.7cm	79.4cm		紙、シルクスクリーン
59	大橋正、ad大橋静雄	明治コーヒーキャラメル(赤紫地)	1956年頃		106.4cm	74.8cm		紙、シルクスクリーン
60	大橋正	御贈答に美しい缶入りキッコーマン醤油	制作年不明		51.6cm	36.4cm		紙、凸版 網版
61	大橋正	春の京美会 春の雑貨研彩会	1938年		39.9cm	77.1cm		紙、凸版・網版
62	大橋正	日本の味どころ マッチ	制作年不明	2.0cm	12.5cm	19.0cm		紙、凸版・網版
63	大橋正	パーモントキャラメル箱	制作年不明	1.9cm	8.0cm	4.5cm		紙、凸版・網版
64	大橋正	レモンドロップ箱	制作年不明	2.0cm			5.0cm	紙、凸版・網版
65	大橋正	スクラップブック 明治製菓雑誌広告(コーヒーキャラメル他)	1957年頃		30.6cm	21.7cm		紙、印刷
66	大橋正	スクラップブック「キッコちゃん 初期」	1950年代頃		30.7cm	23.9cm		紙、インク、鉛筆/印画紙、モノクロプリント
67	宮之原謙	象嵌波花壺	制作年不明	21.2cm		30.3cm		陶磁器
68	宮之原謙	釉彩ゴルフ皿	1939年	5.5cm			29.6cm	陶磁器
69	宮之原謙	象嵌磁唐草盛上皿	1955年	6.0cm			34.3cm	陶磁器
70	宮之原謙	金砂釉四方耳象嵌壺	1969年	32.0cm		27.5cm		陶磁器
71	宮之原謙	彩盛磁泰山木花瓶	1972年	41.0cm		30.3cm		陶磁器
72	宮之原謙	彩盛磁バラボラ香炉	制作年不明	14.6cm		13.1cm		陶磁器
73	宮之原謙	彩盛磁アゼリヤ皿	1949年	5.5cm			30.3cm	陶磁器
74	宮之原謙	象嵌磁盛上百合香炉	1950年頃	17.7cm			17.7cm	陶磁器
75	長田国夫	自画像	制作年不明		80.4cm	65.1cm		油彩
76	長田国夫	葱畑	1983年		72.4cm	91.3cm		油彩
77	長田国夫	原爆ドーム	1983年		77.0cm	110.9cm		油彩
78	赤穴 宏	街なみ	1950年頃		60.3cm	72.8cm		キャンバス、油彩
79	赤穴 宏	ワイングラスとふたつの壺	1998年		73.5cm	73.0cm		キャンバス、油彩
80	剣持勇デザイン研究所	ペンダントライト	1962年		60.5cm	75.0cm		プラスチック、金属
81	剣持勇デザイン研究所	イージーチェア-5005	1958年	77.0cm	76.0cm	63.5cm	34.0cm	成型合板、布
82	剣持勇デザイン研究所	安楽椅子OM5048	1967年	65.0cm	75.0cm	75.0cm		合板、布
83	剣持勇デザイン研究所	テーブルOM2016	1967年	45.0cm	60.0cm	60.0cm		ケヤキ
84	剣持勇	籐スツール	制作年不明	35.0cm			26.5cm	籐
85	竹内栄三郎	フランス式庭園(千葉大学園芸学部)*	制作年不明		46.0cm	53.2cm		キャンバス、油彩
86	竹内栄三郎	虹*	制作年不明		33.8cm	45.9cm		キャンバス、油彩
87	渋谷克己	即興的風景	1988年		91.0cm	116.7cm		油彩
88	渋谷克己	風に	1996年		116.7cm	116.7cm		油彩
89	及川修次	岩崎鬼剣舞(北上市)	1967年		25.4cm	30.5cm		ゼラチンシルバープリント
90	及川修次	中島家 明川(利根郡みなかみ町)	1978年10月2日		22.0cm	29.2cm		ゼラチンシルバープリント
91	及川修次	秋日和はひなたが一番 藤原(利根郡みなかみ町)	1978年10月1日		22.0cm	29.2cm		ゼラチンシルバープリント
92	及川修次	古利根川のたそがれ 満々とした流れに釣り場を求める(松伏町)	1982年4月24日		20.5cm	29.4cm		ゼラチンシルバープリント
93	及川修次	矢切の渡し 江戸川(松戸市)	1975年2月21日		32.9cm	44.2cm		ゼラチンシルバープリント
94	及川修次	マコモ茂る舟繋ぎ場 霞ヶ浦 麻生町(行方市)	1975年11月8日		33.0cm	44.0cm		ゼラチンシルバープリント
95	及川修次	銚子港 夏の花火大会(銚子市)	1975年8月2日		44.0cm	33.0cm		ゼラチンシルバープリント

※no. 23は松戸市教育委員会寄託作品

※参考出品9点は割愛

Fun! New! Nostalgic!
楽しい!新しい!懐かしい!

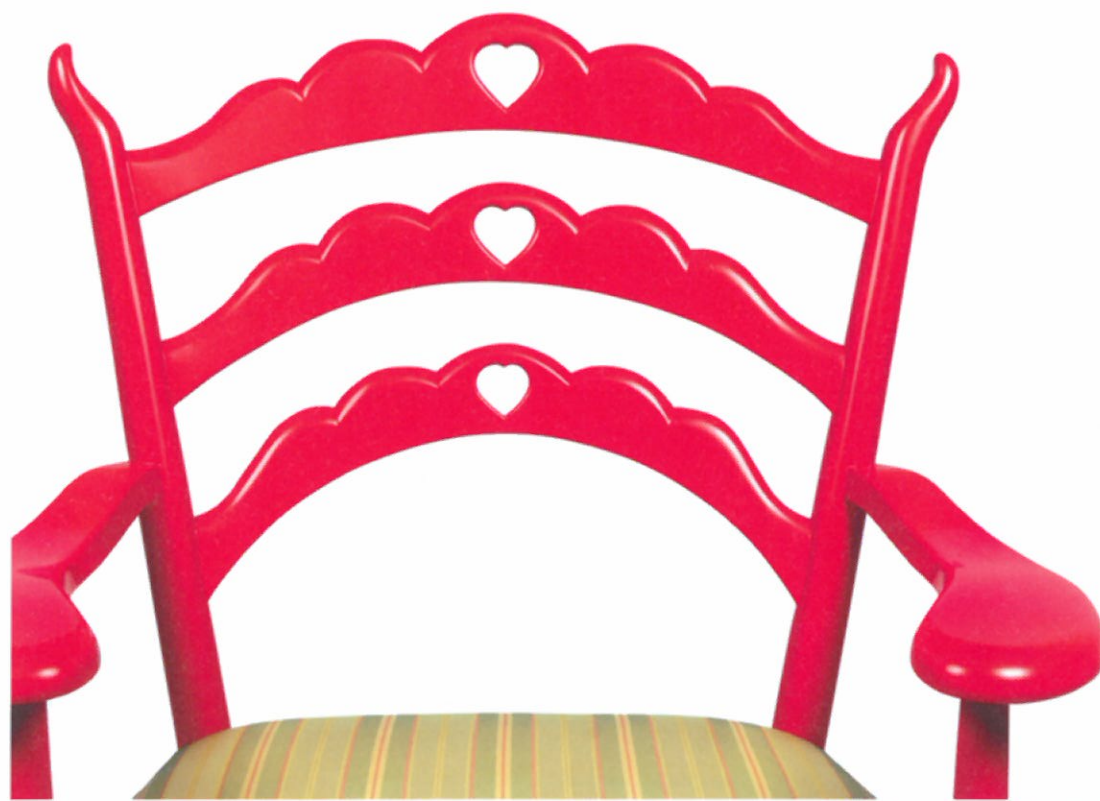
松戸の

Matsudo city art collection

松戸市の美術コレクション



たかからももの



上、大橋正《明治チョコレートキャラメルデラックス》1957年頃 下、森谷延雄《朱の食堂射掛椅子》1925年(2008年復原)(いずれも部分)

2020年7月23日(木・祝) — 8月30日(日)

開館時間 9:30 - 17:00 (入館は16:30まで)

休館日 | 毎週月曜日(8月10日は開館し、11日休館) 観覧料 | 一般310円、高大生150円

常設展示は別料金。常設展示との共通観覧料は一般520円、高大生250円。

次の方は無料です。中学生以下。身体障害者手帳、療育手帳または精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方とその介護者(手帳の交付を受けている方1人につき1人)。松戸市在住の70歳以上の方。

主催 | 松戸市教育委員会 後援 | JOBANアートライン協議会 助成 | 自治総合センター
協力 | 新京成電鉄株式会社、北総鉄道株式会社、流鉄株式会社

松戸市立博物館
(企画展示室)

松戸のたからもの松戸市の美術コレクション

松戸の魅力というとな何を思い浮かべますか？
ラーメン？ 矢切の渡し？
いえいえ、松戸にはそれ以外の魅力もあります。
松戸には多くのたからもの、美術コレクションがあるのです！
フランスで勉強をした若い画家夫妻、松戸の風景を描いた版画家、
おとぎ話に出てくるような家具をつくったデザイナーなどなど。
松戸と関係のあるユニークなアーティストの作品を一堂に公開！
ほかでは見られない作品が勢ぞろいです。
ぜひおでかけください！



- 【洋画】松岡壽、田中寅三、和田香苗、板倉鼎、板倉須美子、土屋幸夫、
長田国夫、赤穴宏、竹内栄三郎、渋谷克己 【版画】奥山儀八郎 【彫刻】寺畑助之丞
【工芸】豊田勝秋、宮之原謙 【インテリア】森谷延雄、剣持勇
【グラフィックデザイン】大橋正 【写真】及川修次

●レクチャー

『板倉鼎・須美子書簡集』刊行記念レクチャー (全2回)

松戸ゆかりの画家、板倉鼎・須美子夫妻の書簡集刊行を記念し、
全2回のレクチャーを開催します。

- ① (仮題)「バリの、海と金魚鉢-板倉鼎・須美子と岡鹿之助」
講師 | 貝塚健氏 ((公財) 石橋財団アーティゾン美術館教育普及部長、美術史研究者)
② (仮題)「板倉鼎・須美子書簡集監修秘話」
講師 | 川崎キヌ子氏 (和洋女子大学名誉教授、書簡集監修者)
田中典子 (社会教育課美術館準備室学芸員)

日時 | ① 8月2日(日) ② 8月23日(日)
いずれも 14:00 ~ 15:30

会場 | 松戸市民会館301会議室

参加費 | 無料

定員 | 各回30名程度 (応募多数の場合は抽選)



●ワークショップ

子どもワークショップ「ミニチュア家具作りにチャレンジ！」(全2回)

展覧会に出ている家具のミニチュアを作ってみよう！

日時 | 8月8日(土) [午前の回] 9:00 ~ 12:00 [午後の回] 13:00 ~ 16:00

場所 | 森の工芸館(博物館すぐ近く)

対象 | 松戸市在住の小学校4~6年生を含めた4家族(1家族4名程度まで)

講師 | 泉晴行(社会教育課学習支援専門員) 参加費 | 無料

申込方法(レクチャー、ワークショップ共通)

電子申請(下記QRコード)、または下記1~5を明記の上、
往復はがきでFAXにてお申し込みください。

- 希望イベント名(希望の回、ワークショップの場合は(午前・午後)も明記)
- ご住所
- 参加者全員の氏名
- 年齢 ※ワークショップ参加の方のみ
- 電話番号

はがき、FAXあて先

〒271-8588 千葉県松戸市根本356番地

松戸市教育委員会社会教育課

FAX番号 047(366)7055



申込期限(往復はがきは当日消印有効)

レクチャー | ① 7月22日(水) ② 8月13日(木)

ワークショップ | 7月28日(火)

※参加決定のお知らせは開催日の3日前を目途にメールかはがきでお知らせいたします。

- 森谷延雄 朱の食堂《小桌子》《食卓》《射掛椅子》1925年(2008年復原)
- 及川修次 《古利根川のたそがれ 満々とした流れに釣り場を求める(松伏町)》1982年
- 寺畑助之丞 《瀬(母子立像)》制作年不明
- 豊田勝秋 《銅網花器(独楽手)》1964年
- 奥山儀八郎 《ニッケ夏服地》1937年
- 板倉鼎 《ダリアと少女》1929年
- 剣持勇デザイン研究所 《イメージチェア5005》1958年



松戸市立博物館 MATSUDO MUSEUM

〒270-2252 松戸市千駄堀671番地 TEL 047-384-8181

【交通のご案内】

電車・バス: ①新京成線「八柱駅」・JR武蔵野線「新八柱駅」下車、徒歩約15分。さくら通りを横断して左折し、
側道で地下へ下りて直進。②「八柱駅」・「新八柱駅」下車、松戸新京成バス3番のりば小金原循環が新松戸駅行
「森のホール21・公園中央口」下車する。③JR常磐線・武蔵野線「新松戸駅」下車、松戸新京成バス3番のりば
八柱駅行「森のホール21・公園中央口」下車。地下道通ってすぐ。
車: 博物館には来館者専用駐車場はありません。「21世紀の森と広場」の有料駐車場をご利用ください。お近くの
東駐車場へは、国道4号線、小金消防署入口を八柱方面へ。森のホール21を過ぎたら側道を上って左折。
※博物館では障害者専用の駐車場をご用意しております。

【展覧会に関するお問い合わせ先】 松戸市教育委員会社会教育課 美術館準備室
TEL 047-366-7463 (平日8:30~17:00) E-mail mcshakaikyoku@city.matsudo.chiba.jp



Matsudo city art collection

(会期中のイベント)